

歴史年表①

*○印は「このころ」を意味する

日本のおもなできごと			朝鮮	中国	世界の主なできごと
旧石器時代	第1章 古代までの日本				400万年前 人類の誕生
	○石器を使った狩猟や採集	旧石器文化	打製石器 岩宿遺跡	殷	世界四大文明
	1 万数千年前 世界最古の土器がつくられる	縄文文化	縄文土器 土偶	周	BC566 シャカ誕生
縄文時代	約 1 万年前 日本列島が大陸から分離			春秋・戦国	BC553 孔子誕生
	紀元前 3500 年頃 三内丸山遺跡の大規模集落			秦	BC221 秦の始皇帝中国統一、皇帝の称号
	紀元前 500 年頃 菜畑遺跡で水田稲作			漢(前漢)	BC202 漢の成立
弥生時代	○水田稲作が広まる				BC27 ローマ帝国成立
	○青銅器や鉄器が大陸から伝わる				BC4 イエス・キリスト誕生
	紀元前 400 年頃 吉野ヶ里遺跡の環濠集落	弥生文化	弥生土器 銅剣・銅矛・銅鐔 高床式倉庫	漢(後漢)	
	○ムラからクニへ				
	57 倭の奴国王が後漢に使いを送る			漢の4郡高句麗(北部)三韓(南部)	AD220 漢が減び、三国に分裂
	107 倭国王帥升が後漢に使いを送る				
	○2 世紀後半 倭国大乱				
	239 卑弥呼が魏に使いを送る				
	○前方後円墳がつくられる				
古墳時代	○大和朝廷による統一の動き	古墳文化	箸墓古墳 埴輪	晋	
	372 百済王世子から七支刀が贈られる			五胡十六国	
	391 朝鮮半島に出兵し、百済・新羅を破り高句麗と交戦(～404)したが朝鮮半島から撤退				
	○倭の五王が南朝の宋に使いを送る				
	451 倭王済「安東大將軍倭国王」に任命される				
	478 倭王武(雄略天皇)が宋に使いを送る				
	552 百済王から仏像と経典を贈られる		仏教伝来 飛鳥寺 帰化人	南北朝	
	○蘇我・物部の崇仏論争				
	562 任那が減亡、朝鮮への影響力を失なう				589 隋が中国大陆を統一
	593 聖徳太子が摂政となる				
	600 第1回遣隋使派遣				
	603 冠位十二階 604 十七条の憲法				
	607 第2回遣隋使「日出づる処の天子日没する処の天子」の国書		法隆寺 釈迦三尊像 百済観音像	隋	610 ムハンマドがイスラム教を創始
	608 第3回遣隋使「東の天皇西の皇帝」の国書 天皇号の始まり	飛鳥文化			618 隋が減び、唐が起こる
	630 第1回遣唐使				
	645 大化の改新、日本独自の年号を使用				660 百済が減びる
	663 白村江の戦い 唐・新羅連合軍に敗北				668 高句麗が減びる
	○防人、水城、近江遷都で防衛を固める				
	672 壬申の乱 天武天皇の政治が始まる			唐	676 新羅が朝鮮半島統一
	○天武天皇、律令、歴史書編纂を指示				
	○「日本」という国号が定まる			新羅	
飛鳥時代	701 大宝律令がつくられる	古代律令国家の形成過程			
	708 和同開珎が鑄造される				

710	710 平城京遷都	天平文化	『古事記』『日本書紀』 『風土記』 東大寺 正倉院 唐招提寺 阿修羅像 四天王像 『万葉集』	新羅	唐			
741	741 聖武天皇が国分寺建立の詔を發布							
743	743 墾田永年私財法 開墾地の私有を認める 聖武天皇が大仏造立を発願（752 完成）							
784	784 長岡京遷都							
792	792 桓武天皇が兵役制度を改革 健児制を新設する							
794	794 平安京遷都							
802	802 坂上田村麻呂 蝦夷を降伏させる	国風文化	最澄 空海					
	866 藤原良房が摂政となる 887 藤原基経が関白となる ○摂関政治が始まる							
	894 菅原道真が遣唐使の廃止を提唱		かな文字の発達					
	935 平将門の乱（～ 40）		『古今和歌集』					
	939 藤原純友の乱（～ 41）		『枕草子』					
	1016 藤原道長が摂政となる ○摂関政治の全盛期		『源氏物語』					
	1051 前九年の役（～ 62）		平等院鳳凰堂					
	1083 後三年の役（～ 87）							
	1086 白河上皇が院政を開始 ○武士の台頭							
			中尊寺金色堂					
第2章 中世の日本								
1156	1156 保元の乱 1159 平治の乱							
1167	1167 平清盛が太政大臣となる							
1185	1185 壇ノ浦の戦いで平氏が滅ぶ 源頼朝が守護・地頭を設置							
1192	1192 源頼朝が征夷大将軍に任命される 鎌倉幕府の成立	鎌倉文化	鎌倉新仏教					
1221	1221 承久の乱 幕府軍が朝廷軍を破る		東大寺金剛力士像 『新古今和歌集』 『平家物語』					
1232	1232 御成敗式目を制定する							
1274	1274 元・高麗軍が対馬・壱岐を襲撃し、 九州に上陸する（文永の役）							
1281	1281 元・高麗軍に江南軍を加え再度襲来（弘安の役）							
1297	1297 武士の窮乏を救うため、徳政令を発令							
1333	1333 鎌倉幕府滅亡	室町文化	『徒然草』					
1334	1334 後醍醐天皇による建武の新政							
1336	1336 足利尊氏が北朝の天皇を立て南北朝時代始まる							
1338	1338 足利尊氏が征夷大将軍となる		能 狂言 金閣 書院造					
1378	1378 足利義満、室町に幕府を移す							
1392	1392 南北朝が合一される							
1404	1404 足利義満が日明貿易を開始							
1428	1428 正長の土一揆							
1429	1429 尚氏によって、琉球が統一される							
936				936	907 唐が減じる 935 新羅が減じる 936 高麗が朝鮮半島統一 960 宋が成立			
1096				1096	第1回十字軍			
1127				1127				
1271				1271	フビライが元を建国			
1275				1275	マルコ＝ポーロが 元の都を訪問			
1279				1279	南宋滅びる			
1368				1368	元が減び、明が建国			
1392				1392	高麗が減び、李氏 朝鮮が成立			
1392				朝鮮王朝	明			

歴史年表②

日本のおもなできごと		朝鮮	中国	世界の主なできごと	
第3章 近世の日本					
戦国時代 1467	1467 応仁の乱がはじまる (～ 77)	室町文化	明	1492 コロンブスがアメリカ大陸到達	
	1485 山城の国一揆、守護を追放 (～ 93)			1494 トルデシヤス条約	
	1488 加賀の一向一揆、約百年間の自治を行う (～ 1580)			1498 バスコ＝ダ＝ガマがインドに到達	
	1543 種子島に鉄砲が伝わる	御伽草子		1517 宗教改革始まる	
	1549 ザビエルがキリスト教を伝える			1519 マゼラン一行が世界一周へ	
	1568 織田信長が將軍足利義昭を奉じて入京			1526 インドにムガル帝国	
	1573 信長が義昭を追放、室町幕府滅亡			1533 スペインがインカ帝国を滅ぼす	
	1582 本能寺の変			1534 イエズス会創立	
	豊臣秀吉の太閤検地 (～ 98)、石高制を確立	安土桃山文化		1588 イギリスがスペイン無敵艦隊を撃退	
	1586 秀吉が関白に就任する				
1587 バテレン追放令					
安土桃山時代 1573	1588 刀狩令によって兵農分離を行う				
	1590 秀吉、全国統一				
	1592 秀吉、明の征服を企て、朝鮮に出兵 (文禄の役)				
	1597 秀吉と明との和平交渉が決裂し、再び朝鮮に出兵 (慶長の役)				
	1600 関ヶ原の戦い				
	1603 徳川家康が征夷大將軍に任命される 江戸幕府の成立		1600 イギリスが東インド会社設立		
	1609 薩摩藩が琉球の首里城を攻略し、琉球王を従わせる		1602 オランダが東インド会社設立		
	1615 大阪夏の陣で豊臣氏が滅亡 武家諸法度を発令		1620 イギリスの清教徒の一部が迫害を逃れてアメリカに移住		
	1635 日本人の海外渡航を禁止する 参勤交代制度を定める				
	1637 島原の乱 (～ 38)		1644 明が滅びる		
江戸時代 1603	1639 ポルトガル船の来航を禁止 (鎖国の完成)	元禄文化	朝鮮王朝 1616	清	1688 イギリスで名誉革命
	1641 オランダ商館を出島に移す				
	1669 アイヌの族長シャクシャインが蜂起し、松前藩と戦う				
	1680 徳川綱吉の文治政治				1732 アメリカで 13 植民地が成立 ○イギリス産業革命
	1702 赤穂浪士の討ち入り事件が起きる	近松門左衛門 歌舞伎 浮世絵 本居宣長 『古事記伝』			1776 アメリカ独立宣言
	1709 新井白石が登用される (～ 16)				
	1716 徳川吉宗の享保の改革 (～ 45)				
	1772 田沼意次が老中となる				1789 フランス革命
	1787 松平定信の寛政の改革 (～ 93)	国学・蘭学の発達 川柳・狂歌の流行			1840 アヘン戦争
	1792 ロシアのラックスマンが根室に来て通商を要求				
1804 ロシアのレザノフが通商を要求	十返舎一九 『東海道中膝栗毛』 滝沢馬琴 『南総里見八犬伝』		1842 南京条約でイギリスに香港割譲		
1808 イギリス軍艦フェートン号が長崎港侵入	化政文化		1851 清国で太平天国の乱		
1825 異国船打払令					
1837 大塩平八郎の乱		俳諧 与謝蕪村 小林一茶 浮世絵 葛飾北斎 歌川広重			
1841 水野忠邦の天保の改革 (～ 43) ○水戸藩の尊王攘夷思想					

第4章 近代の日本と世界 (I)

- 1853 ペリーが浦賀に来航
- 1854 日米和親条約を結び、開国する
- 1855 日露和親条約で、日露の国境を択捉島と得撫島の間に定める
- 1858 日米修好通商条約 安政の大獄 (～ 59)
- 1860 桜田門外で大老井伊直弼が暗殺される
- 1862 生麦事件
- 1863 薩英戦争
- 1864 長州の下関砲台が四国艦隊に占拠される
- 1866 薩長同盟が成立し、討幕運動が加速する
- 1867 徳川慶喜、朝廷に大政を奉還する
王政復古の大号令 明治新政府の発足
- 1868 鳥羽伏見の戦い 旧幕府軍と新政府軍が争う (戊辰戦争～ 69)
五ヶ条の御誓文
- 1869 版籍奉還
蝦夷地を北海道と改称する
- 1871 廃藩置県 清国と日清修好条規を締結
岩倉使節団 (～ 73)
- 1872 学制を發布
- 1873 徴兵令により、国民軍を創設する
地租改正により、土地の所有権と課税基準を定める
- 1874 板垣退助らが、民撰議院設立建白書を提出
台湾出兵
- 1875 ロシアと樺太・千島交換条約締結
- 1876 秩禄処分 日朝修好条規で朝鮮を開国させる
- 1877 新政府の政策に不満を持つ土族が
鹿児島で反乱を起こす (西南戦争)
- 1879 琉球を沖縄県とする
- 1889 大日本帝国憲法発布
- 1890 教育勅語発布 第1回帝国議会が開かれる
- 1894 日清戦争 (～ 95)
- 1895 下関条約により清国から遼東半島や台湾などを
譲渡→三国干渉、遼東半島を返還
- 1900 清国で外国公使館が義和団に襲撃され、
日本を含む8カ国が派兵する (義和団事件)
- 1901 清国と交戦国間で北京議定書締結
- 1902 イギリスと日英同盟を結ぶ (～ 23)
- 1904 日露戦争 (～ 05)
- 1905 ポーツマス講和会議、清国内のロシア権益
(鉄道や租借権)を譲渡される
- 1910 韓国を併合する
- 1911 関税自主権を回復、条約改正を達成

吉田松陰、松下
村塾を主宰文明開化
太陽暦の採用
福沢諭吉
『学問のすゝめ』
鹿鳴館近代国家の
形成過程明治時代の文化
森鷗外『舞姫』
樋口一葉
『たけくらべ』
夏目漱石『こころ』
滝廉太郎
『荒城の月』

朝鮮王朝

清

1897

大韓帝国

1910

- 1857 インドでセポイの乱
- 1858 イギリスがムガル帝国を滅ぼし、インドを併合
- 1861 アメリカで南北戦争 (～ 65)
- 1867 アメリカがロシアからアラスカを買収
- 1879 エジソンが電球を発明
- 1884 清仏戦争
- 1885 ベトナムがフランス領となる
- 1886 ビルマをインドに併合し、イギリス領とする
- 1891 ロシアがシベリア鉄道を建設
- 1893 ハワイがアメリカの保護領になる
- 1898 アメリカがスペインからフィリピンを得る
- 1899 ラオスがフランス領土となる

歴史年表③

時代	日本のおもなできごと		朝鮮	中国	世界の主なできごと		
1912	第5章 近代の日本と世界 (Ⅱ)				1911 辛亥革命で清が減じる		
大正時代	1912 護憲運動始まる	大正時代の文化	日本の統治時代	中華民国	1912 中華民国成立		
	1914 第一次世界大戦に参戦				1914 第一次世界大戦 (~ 18)		
	1915 中華民国政府に、「二十一か条の要求」を出す				1917 ロシア革命		
	1918 米騒動 シベリア出兵 (~ 22) 原敬の政党内閣成立				1919 パリ講和会議		
	1920 国際連盟に加盟、日本は常任理事国となる				1920 国際連盟の成立		
	1923 関東大震災				1921 ワシントン会議 (~ 22)		
	1925 普通選挙法が成立				1922 ソ連邦成立		
	1931 満州事変 関東軍が満州主要部を占領				1924 アメリカ連邦議会で排日移民法成立		
	1932 満州国建国 五・一五事件				1928 蒋介石が国民党政府樹立		
	1933 日本が国際連盟を脱退する				1929 世界恐慌が始まる		
	1936 二・二六事件				1930 アメリカが保護貿易政策に転換		
	1937 日中戦争 (~ 45)				1932 イギリスがブロック経済圏を形成		
	1938 国家総動員法が成立				1933 ドイツでナチス政権樹立		
	1940 日独伊三国軍事同盟を締結				1936 西安事件		
	1941 日ソ中立条約を締結 大東亜戦争 (太平洋戦争) (~ 45)				1939 第二次世界大戦 (~ 45)		
	1943 大東亜会議				1943 カイロ会談		
	1945 広島、長崎に原爆投下 ポツダム宣言を受諾、降伏				1945 ヤルタ会談 第二次世界大戦終結		
	第6章 現代の日本と世界				1945 米ソ占領	1948 1949	1946 中国で国共内戦が再開
1946 公職追放 東京裁判 (~ 48) 日本国憲法公布	昭和時代 (戦後) の文化	朝鮮民主主義人民共和国 大韓民国	中華人民共和国 (台湾)	1948 大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国成立			
1950 GHQ の指令で警察予備隊が新設される (→ 52 保安隊→ 54 自衛隊)				1949 中華人民共和国成立			
1951 サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約締結				1950 朝鮮戦争 (~ 53)			
1952 サンフランシスコ講和条約発効 日本の独立回復				1951 サンフランシスコ講和会議			
1956 日ソ共同宣言で国交を回復 国際連合に加盟 ○高度経済成長始まる				1955 アジア=アフリカ会議			
1960 日米安保条約改定 これに反対する運動が激化				1960 アフリカで 17 カ国が独立			
1964 東海道新幹線開通 東京オリンピック開催				1961 ベルリンの壁構築			
1965 日韓基本条約				1965 ベトナム戦争 (~ 73)			
1972 アメリカの施政下にあった沖縄が本土復帰 日中共同声明に調印、国交正常化				1973 第四次中東戦争			
1973 石油危機 (79 第二次石油危機)				1980 イラン・イラク戦争 (~ 88)			
1978 日中平和友好条約				1989 天安門事件			
1989 昭和天皇崩御				ベルリンの壁崩壊 マルタ会議で米ソ冷戦終結			
1992 国連平和維持活動 (PKO) 協力法成立				1991 湾岸戦争 ソ連邦解体			
2002 北朝鮮拉致被害者のうち 5 名が帰国							

年号→西暦早見表

年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦
あ		寛文 かんぶん	1661～1673	承応 じょうおう	1652～1655	天平神護 てんぴょうじんご	765～767
安永 あんえい	1772～1781	寛保 かんぽう	1741～1744	貞応 じょうおう	1222～1224	天平宝字 てんぴょうほうじ	757～765
安元 あんげん	1175～1177	き		正嘉 しょうか	1257～1259	天福 てんぷく	1233～1234
安政 あんせい	1854～1860	久安 きゅうあん	1145～1151	貞観 じょうがん	859～877	天文 てんぶん	1532～1555
安貞 あんてい	1227～1229	久寿 きゅうじゅ	1154～1156	承久 じょうきゅう	1219～1222	天保 てんぽう	1830～1844
安和 あんな	968～970	享徳 きょうとく	1452～1455	正慶 しょうきょう	1332～1334	天明 てんめい	1781～1789
え		享保 きょうほう	1716～1736	貞享 じょうきょう	1684～1688	天養 てんよう	1144～1145
永延 えいえん	987～989	享禄 きょうろく	1528～1532	正元 しょうげん	1259～1260	天曆 てんりゃく	947～957
永観 えいかん	983～985	享和 きょうわ	1801～1804	承元 じょうげん	1207～1211	天禄 てんろく	970～973
永久 えいきゅう	1113～1118	け		貞元 じょうげん	976～978	と	
永享 えいきょう	1429～1441	慶安 けいあん	1648～1652	正治 しょうじ	1199～1201	徳治 とくじ	1306～1308
永治 えいじ	1141～1142	慶雲 けいうん	704～708	貞治 じょうじ	1362～1368	に	
永正 えいしょう	1504～1521	慶応 けいおう	1865～1868	昌泰 しょうたい	898～901	仁安 にんあん	1166～1169
永承 えいしやう	1046～1053	慶長 けいちょう	1596～1615	正中 しょうちゅう	1324～1326	仁治 にんじ	1240～1243
永祚 えいそ	989～990	建永 けんえい	1206～1207	正長 しょうちょう	1428～1429	仁寿 にんしゅ	851～854
永長 えいちょう	1096～1097	元永 げんえい	1118～1120	正徳 しょうとく	1711～1716	仁和 にんな	885～889
永徳 えいとく	1381～1384	元応 げんおう	1319～1321	承德 じょうとく	1097～1099	仁平 にんぴやう	1151～1154
永仁 えいにん	1293～1299	元龜 げんき	1570～1573	正平 しょうへい	1346～1370	は	
永保 えいほう	1081～1084	建久 けんきゅう	1190～1199	承平 じょうへい	931～938	白雉 はくち	650～654
永万 えいまん	1165～1166	元久 げんきゅう	1204～1206	承保 じょうぼう	1074～1077	ふ	
永暦 えいりゃく	1160～1161	乾元 けんげん	1302～1303	正保 しょうほう	1644～1648	文安 ぶんあん	1444～1449
永禄 えいろく	1558～1570	元弘 げんこう	1331～1334	正暦 しょうりゃく	990～995	文永 ぶんえい	1264～1275
永和 えいわ	1375～1379	元亨 げんこう	1321～1324	承暦 じょうりゃく	1077～1081	文応 ぶんおう	1260～1261
延治 えんち	1239～1240	建治 けんじ	1275～1278	正和 しょうわ	1312～1317	文化 ぶんか	1804～1818
延喜 えんぎ	901～923	元治 げんじ	1864～1865	昭和 しょうわ	1926～1989	文龜 ぶんき	1501～1504
延久 えんきゅう	1069～1074	元中 げんちゅう	1384～1392	承和 じょうわ	834～848	文久 ぶんきゅう	1861～1864
延享 えんきやう	1744～1748	建長 けんちょう	1249～1256	貞和 じょうわ	1345～1350	文治 ぶんじ	1185～1190
延慶 えんきやう	1308～1311	建徳 けんとく	1370～1372	治暦 じりゃく	1065～1069	文正 ぶんしょう	1466～1467
延元 えんげん	1336～1340	元徳 げんとく*	1329～1332	神龜 じんき	724～729	文政 ぶんせい	1818～1830
延長 えんちょう	923～931	元和 げんな	1615～1624	神護景雲 じんごけいうん	767～770	文中 ぶんちゅう	1372～1375
延徳 えんとく	1489～1492	建仁 けんにん	1201～1204	た		文保 ぶんぽう	1317～1319
延文 えんぶん	1356～1361	元仁 げんにん	1224～1225	大永 たいえい	1521～1528	文明 ぶんめい	1469～1487
延宝 えんぽう	1673～1681	元文 げんぶん	1736～1741	大化 たいか	645～650	文暦 ぶんりゃく	1234～1235
延暦 えんりゃく	782～806	建保 けんぽう	1213～1219	大治 だいち	1126～1131	文禄 ぶんろく	1592～1596
お		建武 けんむ**	1334～1338	大正 たいしょう	1912～1926	文和 ぶんな	1352～1356
応安 おうあん	1368～1375	建暦 けんりゃく	1211～1213	大同 だいたう	806～810	へ	
応永 おうえい	1394～1428	元暦 げんりゃく	1184～1185	大宝 たいほう	701～704	平治 へいじ	1159～1160
応長 おうちょう	1311～1312	元禄 げんろく	1688～1704	ち		平成 へいせい	1989～
応徳 おうとく	1084～1087	こ		長寛 ちょうかん	1163～1165	ほ	
応仁 おうにん	1467～1469	弘安 こうあん	1278～1288	長久 ちょうきゅう	1040～1044	保安 ほうあん	1120～1124
応保 おうほう	1161～1163	康安 こうあん	1361～1362	長享 ちょうきやう	1487～1489	宝永 ほうえい	1704～1711
応和 おうわ	961～964	康永 こうえい	1342～1345	長元 ちょうげん	1028～1037	保延 ほうえん	1135～1141
か		康応 こうおう	1389～1390	長治 ちょうじ	1104～1106	宝龜 ほうき	770～780
嘉永 かいえい	1848～1854	弘化 こうか	1844～1848	長承 ちょうしょう	1132～1135	保元 ほうげん	1156～1159
嘉応 かう	1169～1171	興元 こうげん	1256～1257	長徳 ちょうとく	995～999	宝治 ほうじ	1247～1249
嘉吉 かつ	1441～1444	興国 こうこく	1340～1346	長保 ちょうほう	999～1004	宝徳 ほうとく	1449～1452
嘉慶 かがきやう	1387～1389	弘治 こうじ	1555～1558	長暦 ちょうりゃく	1037～1040	宝暦 ほうれき	1751～1764
嘉元 かげん	1303～1306	康治 こうじ	1142～1144	長禄 ちょうろく	1457～1460	ま	
嘉承 かしやう	1106～1108	康正 こうしょう	1455～1457	長和 ちょうわ	1012～1017	万延 まんえん	1860～1861
嘉祥 かしやう	848～851	弘長 こうちょう	1261～1264	て		万治 まんじ	1658～1661
嘉禎 かにてい	1235～1238	弘仁 こうにん	810～824	天安 てんあん	857～859	万寿 まんじゅ	1024～1028
嘉保 かのう	1094～1096	康平 こうへい	1058～1065	天永 てんえい	1110～1113	め	
嘉暦 かりゃく	1326～1329	康保 こうほ	964～968	天延 てんえん	973～976	明応 めいおう	1492～1501
嘉禄 かりく	1225～1227	康暦 こうりゃく	1379～1381	天応 てんおう	781～782	明治 めいじ	1868～1912
寛永 かんえい	1624～1644	弘和 こうわ	1381～1384	天喜 てんぎ	1053～1058	明徳 めいとく***	1390～1394
寛延 かんえん	1748～1751	康和 こうわ	1099～1104	天慶 てんぎやう	938～947	明暦 めいれき	1655～1658
寛喜 かんぎ	1229～1232	さ		天元 てんげん	978～983	明和 めいわ	1764～1772
元慶 げんきやう	877～885	斉衡 さいこう	854～857	天治 てんじ	1124～1126	よ	
寛元 かんげん	1243～1247	し		天授 てんじゅ	1375～1381	養老 ようろう	717～724
寛弘 かんこう	1004～1012	治安 じあん	1021～1024	天正 てんしょう	1573～1592	養和 ようわ	1181～1182
寛治 かんじ	1087～1094	治承 じしょう	1177～1181	天承 てんしょう	1131～1132	り	
寛正 かんしょう	1460～1466	至徳 したく	1384～1387	天長 てんちょう	824～834	暦応 りゃくおう	1338～1342
寛政 かんせい	1789～1801	寿永 しゅえい	1182～1184	天徳 てんとく	957～961	暦仁 りゃくにん	1238～1239
寛徳 かんとく	1044～1046	朱鳥 しゅちょう	686	天和 てんな	1681～1684	れ	
寛和 かな	985～987	正安 しょうあん	1299～1302	天仁 てんにん	1108～1110	霊龜 れいき	715～717
寛仁 かにん	1017～1021	承安 じょうあん	1171～1175	天平 てんぴやう	729～749	わ	
観応 かのう	1350～1352	貞永 じょうえい	1232～1233	天平感宝 てんぴやうかんぽう	749	和銅 わどう	708～715
寛平 かんぴやう	889～898	正応 しょうおう	1288～1293	天平勝宝 てんぴやうしょうほう	749～757		

(注)南北朝時代(1336～1392)には北朝と南朝で異なる年号が使われたが、同じ年号が別の期間に使われたこともある。

*元徳 南朝は1329～1331、北朝は1329～1332。 **建武 南朝は1334～1336、北朝は1334～1338。 ***明徳 1390～1393の期間は北朝のみの年号。